



卒業アルバムより

上田高校 校長 清水 次郎先生の思い出



増澤 賢一

筆者：近影



卒業アルバムより

・・・次郎長先生の教え

- 高校3年、夏の高校野球県予選大会、野球部が頑張り準々決勝で松本深志高校に勝利した翌日の数学の授業が終了後、担当のシャイアン（山崎）先生に「増澤、校長さんが呼んでいるから校長室に行ってくれ」と言われました。

恐る恐る行ったところ、まず昨日の深志戦の応援を労わってくれました。

が、次に「何故、君はあの時に所定の位置から相手側まで行ったのか」と問われました。

当時の公式戦では試合前、後のエールの交換の順番、長い学校名はエール声援の都合上、簡略名の確認、下品なヤジなどで揉め事が起こらぬよう、また野球プレイ同様、応援もフェアプレイで行うことを誓い合うために、必ず試合前、「両校の応援団の代表はバックネット裏の所定の場所にお越しく下さい」と呼び出しアナウンスがありました。係りである私は、毎回、応援団長の西村賢治君（9組）にそれを伝えますと、彼は正しく、とても格好よく済ませてくれました。

実は当日、私は速やかに所定の場所に立ったのですが、2回目の呼び出し後、深志側がようやく走って出てきたので、思わず数メートル相手側陣地に入ってしまったのでした。

- 清水校長先生は「事情は解るが、そんな時は泰然と構えて待つのだ」と教えてくれました。

叱られるかと思って校長室に入りましたが、出る時はホッとしたと同時に、遠い存在の校長先生に親近感を覚えました。